

様式 1 - 2 (調整取扱要領の別記第 3 号様式)

農 地 転 用 計 画 書										
令和〇〇年〇〇月〇〇日										
1 転用事業計画者	住所・氏名 <b>本別町北〇丁目〇番地〇 本別 太郎</b> (法人にあっては主たる事務所の所在地および名称)									
2 事業目的	計画にかかる権利 (所有権の移転・賃貸借の設定)									
3 事業計画地	所 在	<b>北海道中川郡本別町〇〇〇1番地1</b>								
	位 置	外 <b>〇</b> 筆 (最寄駅等主要目標よりの方向、距離)								
	地目別面積	田	畑	計	採草放牧地	その他	合計			
		m <sup>2</sup>	<b>100 m<sup>2</sup></b>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	生産状況		<b>ビート 5.5t</b>							
事業計画地内に含まれる道路、水路等 公共施設の種類および数量 (概要) <b>なし</b>										
4 事業計画	事業の概要	工事計画	第 1 期 (着工 年 月 から 年 月まで)			第 2 期	合 計			
			名称	棟数	建築面積	所要面積		棟数	建築面積	所要面積
		土地造成	<b>通路</b>			<b>50</b>				<b>50</b>
		建築物	<b>住宅</b>	<b>1</b>	<b>50</b>	<b>50</b>		<b>1</b>	<b>50</b>	<b>50</b>
		工作物								
		計			<b>50</b>	<b>100</b>			<b>50</b>	<b>100</b>
	取水、排水計	取水予定地		取水方法		取水目量				
排水予定地			排水処理面		排水目量					
5 当該土地を選定した理由	<b>現在の住宅は築30年以上経過し老朽化している。また、2世帯で住んでいるため手狭になり住宅新築の計画をしました。しかし、既存の住宅については取り壊さず倉庫として利用するため、現在の敷地では建設できないため隣接する農地の一角を選定しました。 なお、土地改良事業等は完了後8年以上行っていません。</b>									
6 転用事業の実施に伴って付近農地または農作物に被害を与えることが予想される場合には、その内容および被害防除措置	<b>付近の農地及び農作物に被害を与える要素はない。</b>									

(添付書類)

- 事業計画を表示した縮尺 1 / 10, 000 程度以上の図面に、次の事項を明示したもの。
  - 転用候補地にかかる道路、水路等公共施設の位置
  - 鉄道引込線、道路、排水路等の予定地、取水地点等
  - 事業計画地の周辺 (おおむね直径 1 km の範囲) の住宅、工場等宅地化の状況を中心とした土地利用状況

- 2 建設計画にかかる建物または工作物の配置計画図（縮尺1／100～1／2,000）
- 3 その他転用目的および転用候補地の適否等の判断を行うに当たって必要とする資料